

筑波地域包括支援センター

令和4年6月1日 かわら版第50号 ☎828-5806

筑波地域包括支援センターが筑波圏域に設置された平成29年10月から令和4年5月で5年と8か月が過ぎました。地域の方々や関係各所の皆様に支えられながら、何とか事業活動を続け、かわら版発行も50号となりました。筑波圏域は、総人口の減少と高齢者（65歳以上）特に後期高齢者（75歳以上）の方々の増加が特徴です。近隣関係や親戚関係が残っており、豊かな自然、おいしい農産物、筑波山や宝篋山への観光客も多く見られます。城下町の風情や歴史ある建造物等も魅力です。筑波地域包括支援センターは、圏域の特徴をとらえつつ、住んでいる住民の方々の相談窓口として、今後も近しい立場で活動して参ります。

～筑波包括支援センターの活動内容～

* 筑波圏域における様々な相談事に対応しています。

- ・ 介護や日常生活に関する相談
- ・ 医療に関する相談
- ・ お金や家庭生活に関する相談
- ・ 権利擁護（虐待等）に関する相談・・・です。

実績として、実相談者数が1, 383人

実相談件数が4, 636件

（延相談件数が8, 060件）

* その他「出張包括」として地域に出向いて相談会を実施しています。近くの開催時には、気軽にお越し下さい。

* 日々、研修や勉強会に参加し、知識を蓄えて相談対応しています。

裏面も見てくださいね。

～筑波地域包括支援センター職員紹介～



松原恵子（管理者）主任介護支援専門員
専門は、介護保険サービスです。生まれ育ったところよりも長く北条に勤務しています。この土地でケアマネジャーとしての経験は20年以上になります。

筑波山の山桜のピンクや新緑の緑、鮮やかではない紅葉の季節の移り変わりが好きです。当たり前前の景色をずっと見守ることが出来たらと思うと同時に、移りかわる人々の手助けが出来ると、近しい立場、近くでの相談を心掛けています。



戸塚啓子（保健師）
看護師として病院で8年以上仕事をし、以後会社で働く人の健康管理をしていました。趣味は食べること、ビデオ鑑賞です。最近、柴犬を飼いました。我が家では3代目の柴犬です。筑波での従事歴は短く、山道もまだ怖いところがありますが困りごと解決の為、頑張っています。宜しくお願いします。

菊地理沙（社会福祉士）

地域包括支援センターに配属になり1年が経ちました。生まれも育ちもつくば市です。子育てをするようになり、自分の小さな頃は地域の方によく面倒をもらったなと感じることが増えました。恩返しのつもりで少しでも地域の方の力になれるよう頑張っています。



小松英信（介護支援専門員）

同一敷地内にあります居宅介護支援事業所にケアマネジャーとして兼務しており、週1回包括支援センターの業務に携わっています。個人的にはジョギングが趣味でりんりんロードや自然豊かなつくば・土浦中心に赴くままにランニングを楽しんでいます。微力ながら、地域の相談支援の一端を担えるよう努めています。

